



学校だより

子供の「やる気」を育てます

7月号 令和6年6月28日
西東京市立保谷第一小学校
校長 原之雄
〒202-0004 西東京市下保谷1-4-4
TEL042-422-4513 FAX042-424-7117
<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya1/>
e-mail e-houya1@nishitokyo.ed.jp

保谷第一小ホームページ
QRコード



やる気にさせる言葉掛け

特別支援教室しらうめ主任

普段、ご家庭でお子様とどんな会話をされていますか。自分のことを振り返ってみると、会話の多くは「〇〇はまだ?」「〇〇しなさい。」という言葉掛けが大半を占めています。もっと子供のがんばっている様子や、何気ない会話を心掛けたいと思うのですが、意識しないとできていないことが現状です。

どの子供も、「褒められたい。認められたい。」という思いをもっています。「がんばったね。すごいね。」などと声を掛けることが多いと思いますが、より効果的な方法や言葉を使って子供たちのやる気を引き出していきたいです。

「PEP TALK」という言葉を知っていますか。スポーツなどの試合前の激励のコーチング話術です。ペップとは、英語で「元気・活気」という意味です。ペップトークは5つのルールと4つのステップがあります。

◆5ルール

- ①ポジティブな言葉 ②短い言葉 ③分かりやすい言葉
- ④一番言ってほしい言葉 ⑤相手の心に火をつける本気の関わり

◆4ステップ

- ①受容・・・事実の受け入れ ②承認・・・とらえかた変換
- ③行動・・・してほしい変換 ④激励・・・背中の一押し

＜自信がない・不安が強い子の場合の例＞ ＊以下は一例です。

受容	確かに、難しそうだし心配だよね。
承認	でも、このチャレンジが達成できたらすごいね。
行動	課題を細かく分けて、できることから始めよう
激励	あなたならきっとできる。さあやってみよう。

やる気に火がつくのは、「自分には価値がある」と感じた時です。自分に価値を感じる時は大きく分けると2つあります。「人に認められたい、人の役に立ちたい」という時です。そして土台となるのが存在です。その上に行動や結果があります。失敗したときに、結果や行動を訂正したとしても存在を否定しないことはとても重要です。ぜひ、PEP TALK を使って子供たちのやる気を育てていきましょう。